

第76回日本臨床眼科学会総会 ランチョンセミナー 36

OCT & レーザーで Pachychoroid 関連疾患を マネージメント！

2022.10.15(sat)
12:10-13:10

第9会場
東京国際フォーラム
ガラス棟 7F G701



座長
飯田 知弘 先生
東京女子医科大学

座長のことば

OCT 技術の発展によってベールに包まれた脈絡膜の観察が可能となり、近年 pachychoroid の概念が提唱され、さらに OCTA が非侵襲的に血管病変を捉え病態理解が進み、Pachychoroid の診断や治療戦略に大きく貢献しています。本セミナーでは、Pachychoroid 関連疾患を診断と治療の観点から 2 人のエキスパートの先生から解説して頂こうと思います。まず、寺尾先生に Pachychoroid 関連疾患を SS OCT による多角的な画像所見と、病態理解について解説して頂きます。続いて、丸子先生に、第一選択である抗 VEGF 薬ではカバーしきれない症例において閾値下レーザーや光線力学的療法が治療適応となるか見解をお話して頂きます。Pachychoroid の理解が深まるセミナーとなること間違いありません。多くの先生方のご来場をお待ちしております。



寺尾 信宏 先生
京都府立医科大学附属北部医療センター

マルチモーダルイメージングから考える
pachychoroid 関連疾患の病態理解



丸子 一郎 先生
東京女子医科大学

閾値下レーザーや光線力学的療法は
第一選択になりうるか？